

血管炎関連3班合同班会議

【厚労省難治性血管炎に関する調査研究班】

【AMED：難治性血管炎診療のエビデンス構築のための戦略的研究班】

【AMED：ANCA 関連血管炎の新規治療薬開発を目指す戦略的シーズ探索と臨床的エビデンス構築研究】

平成28年度 第1回班会議 プログラム

平成28年7月1日（金）

開会の辞

9：00－9：05

研究代表者 有村義宏

厚労省難治性血管炎に関する調査研究班

1. 厚労省健康局難病対策課基調講演

9：05－9：20

厚労省健康局難病対策課

2. 研究班の活動報告

9：20－9：40

研究代表者 有村義宏

3. 分科会活動報告

I. 中・小型血管炎臨床分科会

9：40－10：10

分科会長 針谷正祥

II. 大型血管炎臨床分科会

10：10－10：30

分科会長 磯部光章

III. 国際協力分科会

10：30－10：50

分科会長 藤元昭一

IV. 臨床病理分科会

10：50－11：10

分科会長 石津明洋

V. 横断協力分科会

11：10－11：30

分科会長 高崎芳成

4. 各分科会会議

11：30－12：10

中・小型血管炎臨床分科会 601 会議室

大型血管炎臨床分科会 603 会議室

国際協力分科会 604 会議室

臨床病理分科会 608 会議室

横断協力分科会 609 会議室

～ お 昼 休 憩 ～

12：10－13：00

※尚、昼食時に603会議室にて「血管炎登録・ガイドライン作成・普及推進委員会」

(研究代表者・各分科会長・事務局)を開催いたします。

AMED 血管炎関連研究班報告

・基調講演

13:20～13:35

AMED:戦略推進部 難病研究課 中村 勝

AMED 難治性血管炎診療のエビデンス構築のための戦略的研究班

- | | | |
|----------------------------------|-------------|---------------------|
| 1. 研究班の活動報告 | 13:35～13:45 | 研究開発代表者 有村義宏 |
| I. AAV のリサーチアジェンダの検討 年度計画・進捗報告 | 13:45～13:53 | 長坂憲治・本間 栄 |
| II. AAV 寛解基準の検討 年度計画・進捗報告 | 13:53～14:01 | 佐田憲映・和田隆志 |
| III. AAV コホート研究における有効性 年度計画・進捗報告 | 14:01～14:21 | 佐田憲映・本間 栄・和田隆志・針谷正祥 |
| IV. AAV の肺画像解析 年度計画・進捗報告 | 14:21～14:33 | 本間 栄 |
| V. PEXIVAS 試験 年度計画・進捗報告 | 14:33～14:41 | 藤元昭一 |
| VI. RemIRIT 研究 年度計画・進捗報告 | 14:41～14:49 | 長坂憲治 |
| VII. AAV における健康関連 QoL 年度計画・進捗報告 | 14:49～14:57 | 勝又康弘 |
| VIII. AAV における医療経済学的検討 年度計画・進捗報告 | 14:57～15:05 | 田中榮一 |
| IX. 戦略的病因・病態解析分科会オーバービューと進捗報告 | 15:05～15:20 | 石津明洋 |
| X. 大型血管炎の病因・病態解析 進捗報告 | 15:20～15:30 | 磯部光章 |
| XI. 血管炎の感受性遺伝子解析 進捗報告 | 15:30～15:40 | 土屋尚之 |
| XII. 血管炎の分子基盤解析 進捗報告 | 15:40～15:50 | 宮崎龍彦 |
| XIII. 血管炎の細胞障害機序解析 進捗報告 | 15:50～16:00 | 駒形嘉紀 |
| XIV. 血管炎の自己抗体解析 進捗報告 | 16:00～16:10 | 川上民裕 |
| 2. 事務局より連絡 | 16:10～16:15 | 駒形嘉紀 |

AMED : ANCA 関連血管炎の新規治療薬開発を目指す戦略的 シーズ探索と臨床的エビデンス構築研究班

1. 研究班全体の平成 28 年度活動計画・進捗報告
16 : 30 - 16 : 45
研究開発代表者 針谷正祥

2. 研究開発活動報告
 - I. 顕微鏡的多発血管炎および多発血管炎性肉芽腫症に対するトシリズマブの医師主導治
験準備 年度計画・進捗報告
16 : 45 - 17 : 05
針谷正祥・堤野みち
 - II. 大規模プロテオーム解析による新規活動性マーカーと治療標的蛋白の探索
年度計画・進捗報告
17 : 05 - 17 : 13
長谷川 均
 - III. マルティプレックス解析による治療標的分子同定 年度計画・進捗報告
17 : 13 - 17 : 21
堤野みち
 - IV. 包括的ゲノム情報に基づくシーズ探索 年度計画・進捗報告
17 : 21 - 17 : 29
土屋尚之
 - V. 網羅的遺伝子発現情報による治療反応性予測 年度計画・進捗報告
17 : 29 - 17 : 37
石津明洋
 - VI. 網羅的遺伝子発現解析と bioinformatics による新規分子標的の探索
年度計画・進捗報告
17 : 37 - 17 : 45
竹内 勤
 - VII. 好中球細胞外トラップ (NETs) を標的とする新規治療開発
年度計画・進捗報告
17 : 45 - 17 : 53
石津明洋
 - VIII. Lactoferrin (Lf) 由来ペプチドを用いた NETs 制御による新規治療開発
年度計画・進捗報告
17 : 53 - 18 : 01
平橋淳一

- 閉会の辞
18 : 01 - 18 : 05
研究開発代表者 針谷 正祥

